

「AI活用～分析で、設備点検や 補修の分析・維持保守を支援!」

～ 日立のDXが現場のデジタル化を推進します ～

2021年5月21日(金) 11:00～12:00

参加費 無料(事前登録制) **主催** 株式会社日立システムズ
定員 500名(先着順 定員になり次第、お申し込み受付を終了させていただきます)

高度成長期以降に整備した大量の社会インフラが老朽化していく中、維持管理・更新費増加のため、2023年頃には投資可能総額が不足する推計があります。

また、民間企業においても、バブル崩壊後以降、新規設備投資に慎重になり、景気回復後も、中小企業を中心に長期間にわたって投資が抑制され、設備年齢の低下にはつながっていないというのが現状です。

予算制約下で効果的に維持管理するためには、予防保全型管理で構造物の長寿命化を図り、大規模補修や更新需要をコントロール、平準化すること(アセットマネジメント推進)が考えられます。

しかし、優先順位を付け、点検補修計画立案を行うまでには多くの時間要し、点検・補修優先箇所の見落としの発生も懸念されます。

本ウェビナーでは、お客さまが保有するインフラ施設や設備の維持管理業務データを統計分析手法(AI)を活用し、優先的に点検・補修が必要な施設や設備を可視化するシステムなどを紹介します。

2021年5月21日(金) 11:00～12:00

インフラ施設や設備(電気設備、通信設備など)に関する既存の維持管理データ(諸元、点検、補修データなど)をAIで分析し、施設や設備の損傷状況、健全度を予測。インフラ施設や設備の点検・補修計画の立案および、公共構造物のアセットマネジメントから保守・運用BPOをワンストップで支援するシステム(CYDEENシリーズ)を紹介します。

1.劣化要因分析支援サービス

統計分析手法(AI)の活用により施設の点検・補修計画業務の効率化をサポート

2.維持管理システム

維持管理業務のPDCAサイクルを確立し業務の改善、効率化を支援

その他、タブレット端末等を利用し、点検作業等をスマート化するフィールド作業支援サービス
カメラを利用して、メーター検針・点検作業等の効率化UPするメーター自動読み取りサービスを紹介します。

お申込みは
コチラ

本ウェビナーの詳細はセミナーサイトをご参照ください。

<https://www.hitachi-systems.com/seminar/2021/20210521a.html>

日立システムズ セミナー



お問い合わせ

株式会社 日立システムズ 関西セミナー事務局 桃沢・甲斐
TEL: 06-6147-2190 Mail: seminar-kansai.qj@hitachi-systems.com

※お申し込みにあたっては、Webに掲載されている【個人情報の取り扱いについて】をお読みいただき、同意いただける場合のみお申し込みください。

※お申し込み受付は、先着順とさせていただきます。なお、定員になり次第締め切らせていただきますので、予めご了承ください。

※お申し込みは、法人、自治体のお客さまに限らせていただきます。また、同業他社さまにつきましては、参加をご遠慮いただくことがありますので、予めご了承ください。